

施工説明書

INAX

小型電気温水器 EHPN-F6N3
(先止め式)

■施工時には必ずお守りください。
以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。
この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。
マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

施工の用語の説明

警告

注意

記号の説明

「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

「必ずアース接続をしなさい！」

警告

アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしがって、必ず「法的有資格者(電気工事士)」による D 種接地工事(100Ω以下)を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

使用する電源、消費電力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。また、電源コード・プラグの変更、改造、分解は絶対に行わないでください。
※火災の原因となります。

○屋外には設置しないでください。
○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
※故障や感電の原因となります。

○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
※感電や火災の原因となります。

○電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

○水道水(水道事業体が供給する上水)以外の水を使用しないでください。
※早期に機器が破損したり、漏水したりする恐れがあります。

注意

必ず機器内のタンクを満水にしてから、電源スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。

○機器を横にしたり、上下を逆さにしたりした状態で設置しないでください。
○車両や船舶内に設置しないでください。
※機器の故障、ヤケド、漏電、漏水の恐れがあります。

○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。

○機器を水栓より上に設置しないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。

○この機器は、給水圧力 0.05～0.75MPa の範囲でご使用ください。
※水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり膨張水口から水がふき出し続ける恐れがあります。

○膨張水口からの膨張水排水ホースは、確実に配管施工してください。
※漏水の恐れがあります。

○水栓への接続は 1 ヲ所だけにしてください。2 ヲ所以上に接続しないでください。
※水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりする恐れがあります。

○凍結の恐れがある場合は、機器の水抜きを行ってください。
※機器の漏水や破損の原因になります。

1. 仕様

本体品番	EHPN-F6N3
外形寸法	175mm×293mm×437mm(突出部寸法含む)
質量	本体約 5.6 kg(満水時約 11.6 kg)
給水方式	先止め式
使用水压範囲	0.05 (流動圧) ～0.75MPa (静水压) ※自動水栓と組み合わせる場合は流動圧で 0.1MPa 以上
減圧弁設定圧力	0.08MPa
逃し弁設定圧力	吹き始め 0.097MPa 吹き止り 0.09MPa
電源コード	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ
定格電圧	AC100V(50/60Hz)
ヒーター能力	450W
タンク容量	約 6L
出湯温度	約 60℃
わかあがり時間	約 42 分 (15℃→60℃)
発熱体構造	シーズヒーター
自動温度調節器	バイメタル方式 (自動復帰式)
温度過昇防止器	バイメタル方式 (手動復帰式)
使用可能雰囲気温度範囲	0～40℃

商品の機能が十分発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
この説明書は、施工完了後、お客さまにお渡しください。
また定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

2. 同梱品一覧

施工前に同梱部品を確認してください。

本体

説明書セット

固定金具 A:1 個
固定ねじ A(4×20):2 本
固定ねじ B(4×10):2 本

排水用ビニールホース(透明)
内径 φ9×650mm

3. 別売品一覧 ☆は必要別売部品

品名	品番	備考	外観概略
☆ フィルター 付止水栓	ELF-3EK	壁給水用	ELF-3EK ELF-3SEK
	ELF-3SEK	床給水用	
☆ 排水器具	EFH-4/PT EFH-4	カウンター用 (/PT はグレー色)	膨張水排水ホース(黒) (φ7×500mm)入り ※図は EFH-4
	EFH-4-25 /PT	φ25 排水管 対応用	
固定脚	EFH-DA1	カウンター下など 床上に直接設置 する場合に使用	
固定金具	EFH-KK1	カウンター下に壁 から離して設置す る場合に使用	
膨張水 排水ホース (黒)	EFH-1M	内径 φ7mm×1m	排水器具に同梱されているホースは長さ 500mm です。長さが足りない場合に手配して ください。ホースバンドは、排水器具に同梱の ものをご使用ください。
自動水栓 接続継手	FH-K1	サーモスタット付 自動水栓を壁付 けする場合に使用	
L 型接続 継手	EFH-HK2	出湯・同圧給水方 向を 90 度曲げ たい場合に使用	
排水曲り管 (φ32mm)	EFH-HM1	排水芯から壁面ま での距離が短い 場合に使用できま す。(Pトラップ用)	【設置条件】 洗面器排水芯から壁面の距離 ・EFH-HM1:140～223mm ・EFH-HM1-25:160～229mm
排水曲り管 (φ25mm)	EFH-HM1-25		
ウィークリ ータイマー	EFH-TM4	電気温水器へ通 電する時間を設定 する場合に使用	

その他現場での調達品
ステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径 13mm)、1/2B 耐熱シートパッキン、ニップル

4. 寸法図

EHPN-F6N3 本体

電源コード(1.5m)

143
124
86

223
172
87

膨張水排出口

同圧給水口(G1/2)

給水口(G1/2)

出湯口 (G1/2)

逆止弁付
ストレーナー(内蔵)

固定金具(同梱部材)
※化粧台設置時

電源スイッチ

固定金具(同梱部材)
※カウンター設置時

逃し弁

水抜き栓

175

77
12

25

398

32

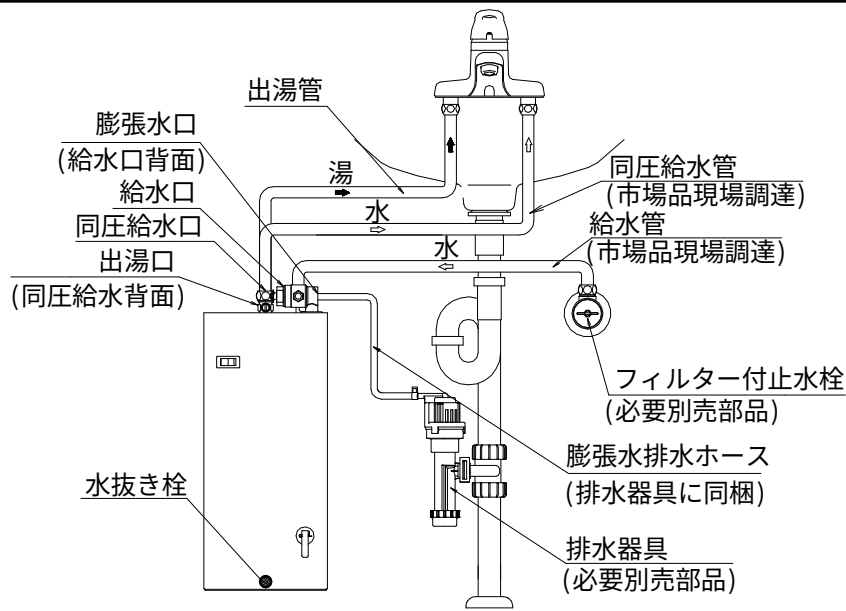
7

271

293

固定脚セット(別売品)
※カウンター設置時

5. 標準施工図例



6. 取付け手順

※電気温水器を取り付ける前に、洗面器やカウンターをそれぞれの施工説明書にしたがって取り付けてください。

＜取付けの流れ＞

- ①機器への固定金具の取付け
- ②給水管、出湯管・膨張水排水ホース(黒)の長さ確認
- ③機器への配管
- ④膨張水排水ホース(黒)の接続
- ⑤床面もしくは壁面への固定

6-1. フィルター付止水栓の取付け

給水管にフィルター付止水栓(必要別売部品)を取り付ける。

❗

○必ずフィルター付止水栓を取り付けてください。
※機器内にゴミが入り、故障の原因になります。

❗

○接続口が上向きまたは横向きになるように接続してください。
※下向きに取り付けるとフィルター清掃時に配管に
ゴミが入り、機器が故障する原因になります。

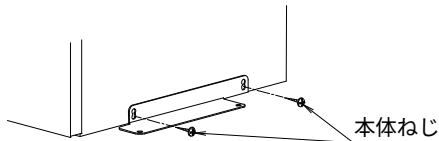
❌

○給湯配管に使用しないでください。
(給水配管専用です)
※故障の原因になります。

6-2. 固定金具および取付脚(カウンター下設置の場合のみ)の取付け

(A) キャビネット内設置の場合

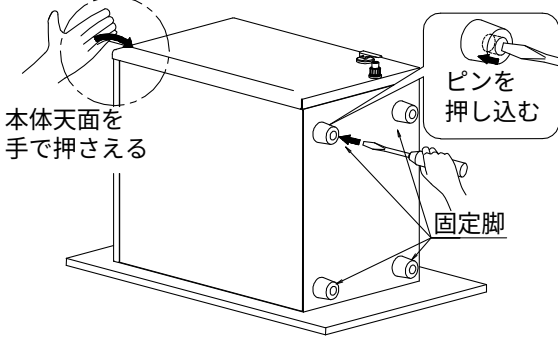
○機器下部のねじを用いて、機器本体に固定金具(付属品)を取り付ける。



機器下部のねじで共締めします

(B)カウンター下設置の場合

①機器に固定脚(EFH-DA1、別売品)を取り付ける。
※ダンボール等を下にしき、機器を寝かせた状態で作業してください。



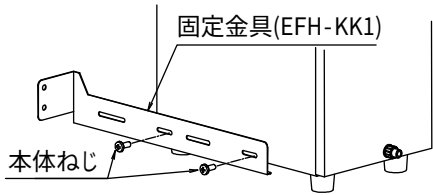
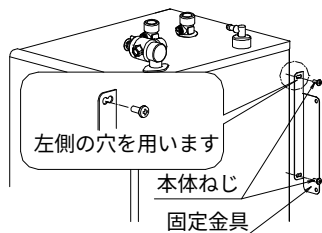
②機器のねじを用いて、機器本体に固定金具を取り付ける。

壁面に直接固定する場合

機器側面のねじで共締めします。

配管等があり壁面に直接固定できない場合

別売品の固定金具(EFH-KK1)を準備し
機器下部のねじで共締めします。



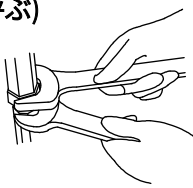
※機器左側面に固定金具を取り付ける場合は、固定金具右側の穴を 사용합니다。

❗ ねじの取付け、取外しは手回しドライバーで行ってください。
※インパクトドライバー等を用いると、ねじ部の破損の恐れがあります。

6-3. 機器への配管

❗ この機器は 0.75MPa を越える高水圧地域では使用しないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。

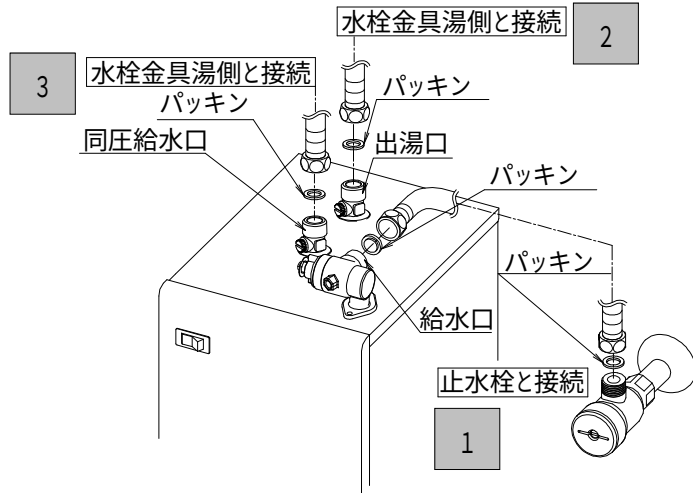
- ❗
- ステンレスフレキシブル管の接続は必ずスパナ 2 丁使用するなどして、取り付ける相手の機器に無理な力がかからないよう注意して接続してください。
また接続部には、必ず耐熱シートパッキン(以下パッキンと呼ぶ)を使用して接続してください。
※漏水の恐れがあります。
 - 配管長さは 1m 以内としてください。
 - 機器を接続する前に、20L 程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。
※機器にゴミが侵入し、故障の恐れがあります。



- 機器への配管は、市販のステンレスフレキシブル管 (1/2B、呼び径 13mm) を使用してください。
- 機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。

(A)混合水栓へ取り付けの場合

- ①フィルター付止水栓と、機器の給水口を接続する。
- ②水栓金具の湯側と、機器の出湯口を接続する。
- ③水栓金具の水側と、機器の同圧給水口を接続する。

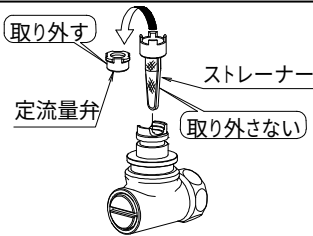


❗ 機器の給水口と出湯口とを逆に接続しないでください。
※高温のお湯が出て、ヤケドの原因になります。

(B) サーモスタット付自動水栓へ取り付けの場合

- 別売品の自動水栓接続継手を準備してください。
- 現場の流動時給水圧力が 0.1MPa 以上必要です。

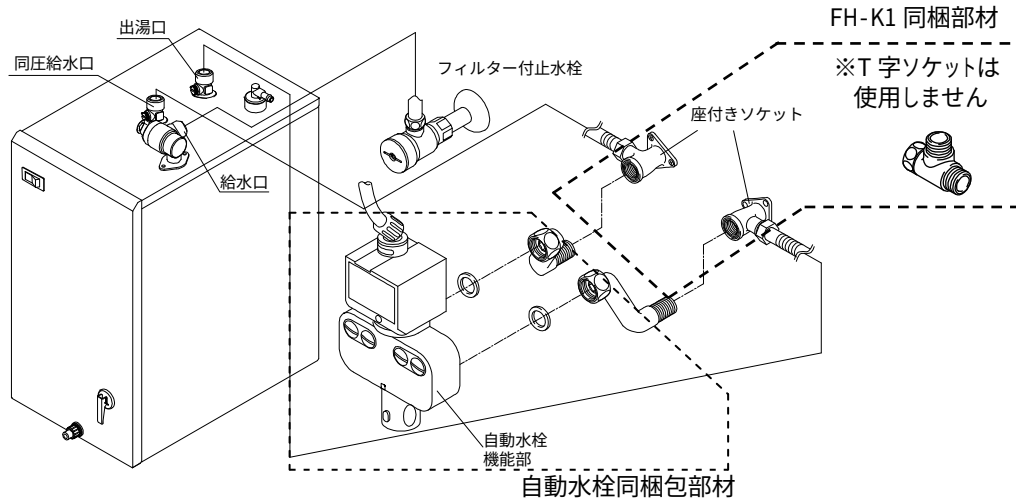
❗ 自動水栓の定流量弁は必ず取り外してください。
※流量が不足する恐れがあります。
定流量弁の位置については自動水栓の
施工説明書を参照ください。



❗ 機器の給水口と出湯口とを逆に接続しないでください。
※高温のお湯が出て、ヤケドの原因になります。

自動水栓接続継手(FH-K1)が必要です

自動水栓接続継手の施工説明書に従い配管接続する。



6-4. 膨張水排水ホース (黒) の接続

○膨張水排水ホース (黒) を、機器の膨張水口に接続する。

膨張水排水ホース (黒) は 確実に配管施工してください。 ※漏水の恐れがあります。

○別売の排水器具を準備してください。
○排水器具の取付けは、排水器具 付属の施工説明書をご覧ください。
○必ずホースバンドを取付けて ください。

○排水器具に付属の膨張水排水ホース(黒)が、膨張水口まで届かない場合は、別売の 膨張水排水ホース(黒) (EFH-1M、内径φ7×1m) を使用してください。
○膨張水排水ホース (黒) の長さは1m 以内としてください。
○膨張水排水ホース(黒)が長い場合は、適当な長さに切って取付けてください。
○排水器具のホース接続口が膨張水口より高い位置にあっても、膨張水の排水に 影響ありません。

6-5. 機器の固定

機器の前扉を壁面に向けて設置しないでください。 ※メンテナンスができなくなります。

(A)キャビネット内設置の場合

キャビネット内の補強木の位置を確認して、付属のねじで補強木に固定する。

固定金具下に補強木がある場合
補強木に固定する。

固定金具下に補強木がない場合
別途取付板(9mm)を準備し、固定する

(B)カウンター下設置の場合

付属のねじで壁面に固定する。 ※固定前に壁面の取付強度を確認してください。

壁面に直接固定する場合
配管等があり壁面に直接固定できない場合

7. 電気工事

○漏電遮断器を必ず設置してください。
○必ずアースを接続してください。
○アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしたがって、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。 ※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず 専用補修部品と交換してください。
○使用する電源・ヒーター能力(定格消費電力)を本体の定格銘板で確認し、必ず 適した配線をしてください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。
○コンセントの電圧を必ず確認してください。100V用コンセントに200Vが供給 されている場合は、電気工事をやり直してください。 ※感電や火災の原因になります。

品番	定格電圧	ヒーター能力	コンセント形状	推奨コンセント (パナソニック電工製)
EHPN-F6N3	AC100V	450W		WTF113239W WN1132K

- ①本機器専用に「接地極付コンセント」を用意する。
機器の取付位置より 1.5m 以内の所にコンセントを設けてください。
- ②コンセントに D 種接地工事を行う。
- 形状の違うコンセントが取り付けいていた場合は、コンセントを取り替えてください。 機器の電源プラグの変更はできません。

8. 施工後の確認・処置

8-1. 膨張水排水ホース (黒) の確認

機器の取付けが完了したら、以下の点を確認して、必ず膨張水排水の配管が行われていることを確認してください。

①専用の排水器具が取り付けられていること。
②排水器具が目視で垂直に取り付けられていること。
③排水器具と機器の膨張水口とが確実に接続されていること。

8-2. 通水確認

必ず機器内のタンクを満水にしてから、電源スイッチを「入」にしてください。 ※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

①給水・給湯配管が確実に接続されていることを確認する。
②開閉工具(止水栓付属品)を用いて止水栓を開ける。

③水栓金具の湯側を全開にして吐水する。

吐水が安定するまで続けてください

<自動水栓の場合>

●湯水切替タイプの自動水栓の場合、必ず湯側で通水してください。 ※機器に給水されず空だきの原因になります。

④ (混合水栓の場合) 水栓金具の水側についても同様の操作を行う。
⑤水栓金具を閉め、各部に漏れがないか確認する。

8-3. フィルターの掃除

機器の設置初期に、配管内を流れてきたゴミがフィルターに詰まって、湯や水の出が悪くなることがあります。通水確認後に、フィルターの掃除を行ってください。

①開閉工具 (止水栓付属品) を用いて 止水栓を閉める。

必ず止水栓を閉めてください。 ※漏水の恐れがあります。

②開閉工具 (止水栓付属品) を用いて フィルターを取り外す。

フィルターを取り外すと、止水栓から水がこぼれます。 止水栓下部に洗面器等で水を受けてください。

③フィルターおよび止水栓本体を清掃する。

④取外しと逆の手順でフィルターを取り付ける

8-4. 流量調整

○開閉工具 (止水栓付属品) を用いて、流量調整をする。

止水栓を回して、洗面器から水ハネしたり オーバーフローしたりしないようにします。

必ず止水栓で流量調整してください。 ※水ハネや湯切れなどトラブルの原因になります。

【自動水栓との組合せ時】
止水栓は全開まで回し、自動水栓側の流量調整栓で 流量調整を行います。 ※詳しくは、自動水栓の施工説明書を参照ください。

8-5. 機器への通電

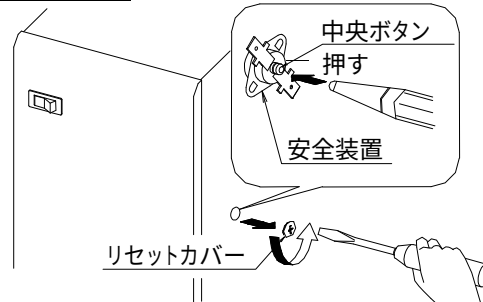
必ず機器内のタンクを満水にしてから、電源スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

①電源プラグをコンセントに
確実に差し込む。

②運転スイッチを「入」にする。

運転スイッチを「入」にしてもスイッチ部が点灯しない場合

安全装置が作動していることが考えられます。
いったん運転スイッチを切り、電源プラグを
コンセントから抜いた後、機器本体のリセット
カバーをドライバーで取り外し、ボールペンの
端などで機器内にある安全装置の
中央ボタンを押し込んでください。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。



[取外し時、取付け時の注意]
取外し時:リセットカバーを半時計方向に回すと、約 1 回転で外れます
取付け時:リセットカバーを時計方向に回すと、約 1 回転で取付きます。
※リセットカバーの締め込みすぎに注意してください

運転スイッチが「入」のままで、リセットカバーを外さないでください。
※感電の恐れがあります。

9. 水抜き方法

機器の設置後、引渡しまでに凍結の恐れがある場合は、以下の手順で
機器の水抜きを行ってください。

①運転スイッチを「切」にし、電源
プラグをコンセントから抜く。

②水栓金具の湯側を全開にして、吐水が水に
なるまで流し続ける。

③水栓金具を開けたまま、止水栓を閉める。

必ず機器内の湯を出し切ってください。
※機器内に湯が残っていると、水抜き時に
ヤケドの恐れがあります。

④付属の排水用ビニールホース (透明) の端部を
水抜き栓に差し込む。

⑤水抜き栓を開ける。
水抜き栓を左に回します。固くて回しにくい場合はペンチ等を使用してください。

必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜き栓を開けてください。
※高温の湯でヤケドの恐れがあります。

⑥逃し弁のピンを立てる。

⑦給水口の水抜きボタンを押す。

⑧エアチャージ栓を開け、排水する。

⑨水抜き栓、エアチャージ栓、
逃し弁のピンを元にもどす。

水抜き栓を開けてからエア
チャージ栓を開けてください。
※水抜き栓を閉めた状態で
開けるとエアチャージ栓から
水が出ます。

10. 施工後の最終確認

全ての作業完了後、下記の表に従って最終確認をしてください。

確認事項	確認内容	チェック欄
電源電圧	施工した機器に合った電圧がコンセントに供給されているか	
止水栓	必要別売部品のフィルター付止水栓が施工されているか	
排水器具	必要別売部品の排水器具が施工されているか	
漏水	内部の配管・タンクや配管接続部から漏水がないか	
流量	水栓の施工説明書に合った流量になっているか	
保証書	必要な内容を記載したか	

確認後、取扱説明書、施工説明書、排水用ビニールホース (透明) とともに、
フィルター付止水栓の開閉工具をお客さまにお渡しください。